



北・その自然と人

札幌市博物館活動センター情報誌 ミューズ・レター

# Muse Letter

札幌市博物館活動センターは自然系総合博物館の計画推進のため、市民とともに教育普及活動、展示・交流、調査研究、資料収集保存を行う活動拠点です。

2012.6 No.49

発行・札幌市博物館活動センター

〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ内5階

TEL 011-200-5002 FAX 011-200-5003 <http://www.city.sapporo.jp/museum/>

## オクエゾサイシンと ヒメギフチョウのなぞ

初夏の植物観察会で、オクエゾサイシン（ウマノスズクサ科）を観察しました。この植物は山の林の中でよく見られます。ただ、こげ茶色で直径1cmほどの花は葉の下にかくれ、地面すれすれに咲いているので、登山道の近くにあっても気がつかずに通り過ぎてしまう人の方が多いかと思えます。観察会でも初めて見たという人もいて、しゃがみこんでじっくり観察していました。さらに、参加者の中から「ヒメギフチョウがこの植物にだけ卵を産みつけ、幼虫はこの植物しか食べない」という話がでると、また興味が広がった人もいたようです。

しかし、このチョウと植物の関係にはまだなぞがあります。それは、オクエゾサイシンが北海道全体に分布するのに対して、ヒメギフチョウは札幌をふくむ石狩低地帯より南からは発見されないということだ

す。チョウは自由に飛んでいけるのに、北海道ではオクエゾサイシンの分布するエリアに比べて、ヒメギフチョウが生息するエリアのほうがせまいというのは不思議です。当センターに収蔵されているヒメギフチョウの標本（110個体、1970年代後半～1990年代前半に採集）の採集地を確認しても、札幌で採集されたものはありませんでした。

数十年～数百年のデータから「ここからここまでが生息範囲」とラインを引いたり線で囲ったりするのは、自然を大きくとらえる場合はわかりやすい方法です。けれども、生物界では数千、数万年という長い時間をかけた変化もあり、「なぜ、そうなっているのか？」をつきとめるのはむづかしいことだと思いました。

（文：山崎）



オクエゾサイシン（札幌産）  
北海道～本州（北部）に分布。



ヒメギフチョウ（道内産、札幌市博物館活動センター収蔵）  
ヒメギフチョウは本州にも生息します。北海道のものは北海道亜種とされています。

「博物館」を意味する英語Museumの語源であり、喜びを表すmuse（ギリシャ語）と通信や手紙を意味するLetter（英語）からMuseLetterと名付けました。

新連載!

# 札幌っ子 大杉解説員の 心のスケッチブック

## Page 1

### モエレ沼の水はなぜ茶色なの?

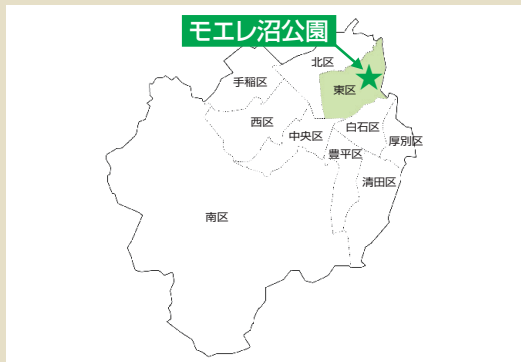
はじめまして。4月から新しく展示解説員になりました大杉あいと申します。以前は、小学校で図書室の仕事をしていたり、公園事務所で働いていたり、大学院に行ったり…。いろいろなことに興味があり、チャレンジしてきました。この経験を博物館活動センターで生かすことが出来たらと思っています。そして、お客様の「なぜなに」を学芸員さんにお伝えする伝書鳩のように日々頑張っていることに励みたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

私は生まれも育ちも札幌なのですが、ここで3ヶ月働いて札幌について知らなかったことが本当に多いと痛感しています。このコラムでは、札幌育ちの私ならではの視点で、札幌の自然についてなるほどと思ったこと、日々展示室で出会うお客様からの質問の中で「切り口がすばらしい」と思ったテーマについて書いていきたいと思えます。

スケッチブックの「1ページ目」は、以前に働いていたモエレ沼公園にまつわるお話です。モエレ沼公園で働いていたときに、お客様から「やっぱりゴミの埋め立て地だから水が汚れているんだね」と言われたことがありました。わたしも「そうなんだな」と思っていたのですが、その話を学芸員にしたところ、実は…。

モエレ沼の水がなぜ茶色かということ、周辺の土壌が泥炭地といって、かれた植物が完全にくさってなくならずに積み重なっていくことでできた土のため、その成分が沼の水にもしみだして茶色く見えているのだろう、とのことでした。モエレ沼に限らず、湿原にある池の水は茶色いことが多いそうです。つまり、汚い＝茶色というわけではない、ということです。

モエレ沼公園は彫刻家イサムノグチが最後の仕事としてマスタープランを製作した公園で、アート鑑賞や散歩に訪れたことのある方も多いと思います。公園でアートを楽しんだ後に、その下の地面や沼にも目を向けてみると、そこには意外と新たな発見があるかもしれません。



モエレ沼公園の位置



モエレ沼 (2006年6月撮影)